

No. 1125

「日本赤軍」仲間を奪還

8月4日午後、マレーシアの首都クアラルンプールでアメリカ大使館とスウェーデン大使館を銃で武装した「日本赤軍」が襲撃、警官一人を射殺、アメリカ領事ら五十人を人質にとり、両国大使館を占拠した。犯人は日本に拘置されている「日本赤軍」のメンバーら七人の釈放と日航機派遣を要求、要求に応じない場合は人質を射殺すると通告した。

事件を重視した三木首相は、ワシントンから対策を指示、井出官房長官を本部長とする対策本部を設置、犯人の要求している七人の釈放を決定した。政府対策本部は、出国に応じた五人を8月5日早朝、羽田空港に護送、待機させた。出国に応じたのは、「ハーグ事件」の西川純、「横浜銀行強盗事件」の松田久、「三菱重工爆破事件」の佐々木規夫、スウェーデンから強制送還された戸平和夫、それに「浅間山荘事件」の五人。松浦順一と坂口弘は出国を拒否した。

犯人グループは七人全員の釈放を要求、出発は大巾に遅れ、羽田空港には緊迫した空気が流れた。木村運輸大臣や朝田日航社長が心配そうに見守る中、午後2時48分、日航特別機はクアラルンプールへ出発、日米首脳会談のさなかをねらった「日本赤軍」の同志奪還作戦の波紋は、まだまだひろがりそうだ。

東海道五十三次

高速道路におしつぶされそうに佇む、東京日本橋は東海道の出発点である。夏休みに入って急に増えた旅行者、東京のあるグループは東海道五十三次の旅を計画。ただし、お年寄りが多いこともあってバスの旅。

昔のように歩くことに比べると、さすがにバスは早くあつと言う間に箱根の関へ。

通行手形ならぬ入場券を買って関所跡の見学。三島神社は源頼朝が旗上げの時、祈願をこめた神社で、のちに鎌倉幕府の崇敬を受けた。三保の松原は羽衣の伝説が有名。

昔のまま、そっくり残っている丸子の丁字屋、今もかわらぬとろろ汁が人気。室内には江戸時代に使用されたカゴなど数多く残っていて興味深い。大井川を越えて、一行は絞り屋の店構えが建ち並び昔の繁栄ぶりを思わせる有松へ。

昔は旅の人にも容易に買えた有松絞も今では高級品として知られ、重要文化財に指定されている。

まだまだ若い者には負けんと童心に返って忍者ごっこ。

久し振りに体を動かしたせいか、腹が減って名物姥ヶ餅に舌鼓。満腹になってウツラウツラ、しているうちに京へ。

加茂川にかかる三条大橋を渡って、東海道500キロ2泊3日のバスの旅は終わった。